

RPPC メールマガジン 第 871 号

リサイクルポート推進協議会（令和 3 年 5 月 12 日）

■先週・今週の事務局からのお知らせ

1. R03\_定時総会の「書面開催」について

令和 3 年度定時総会につきましては、現下の新型コロナウイルスの状況に鑑み、6 月下旬  
目途に書面で行う方向で調整中です。

詳細が決まり次第、御連絡致します。

※詳細につきましては RPPC ホームページにも掲載していきます。

<http://www.rppc.jp/>

2. 各団体の登録情報について【重要】

5 月以降、総会に向けて議案書等の郵送を行います。

担当者の変更、役職・住所変更等ございましたら

お早目に事務局までお知らせいただきますようお願い致します。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 自民党港湾議連、CNP に係る検討状況等テーマに議論

自由民主党の港湾議員連盟（竹下亘会長）は 4 月 27 日、党本部において総会を開催した。  
令和 3 年度港湾関係予算、ならびにカーボンニュートラル（CNP）に係る検討状況等をテ  
ーマに意見を交わした。高田港湾局長が、わが国港湾の今後の売りとして、CNP 形成を通  
じた環境にやさしい次世代の港づくりへの取り組みを話した。

開会にあたって梶山幹事長が、「今はコロナ禍のためそれぞれの地域は大変だと思うが、港  
湾の整備・振興を進めることによって、地域に活力をとり戻すことが港湾議員連盟の大きな  
役割」と述べると共に、「昨年、経済産業省と国土交通省とで『洋上風力の産業競争力強化  
に向けた官民協議会』を設立した。その中で 2040 年に最大 45GW の導入を図ることを  
宣言した。港湾を中心に新たな産業が生まれる可能性がある。さらにカーボンニュートラル  
では、CO<sub>2</sub> の排出量の約 6 割が港湾地域によるもので石炭火力、コンビナートなどさまざ  
まなエネルギーの資源が港湾に集中している。新たな港湾の活力を生み出していくために  
CNP は非常に重要なものだと思っている。港湾議連は今後もしっかりとした予算と税制

を獲得するため、一致団結して頑張って参りたい」と挨拶した。

---

## 2.国交省港湾局、洋上風力基地港湾の在り方を検討

国土交通省港湾局は、洋上風力の基地港湾のあり方についての検討会を新たに設ける。大型化する洋上風力発電設備や需要の増加等に対応する。

洋上風力基地港湾は、これまで秋田港、能代港、鹿島港、北九州港の4港が指定され、既に秋田港において供用開始しているほか、他の3港においても想定している洋上発電プロジェクトに対応するべく、施設整備が進んでいる。

ただ指定済の4港湾では、現状の促進区域や有望区域など、概ね2030年半ばくらいまでの立上りが見込める洋上発電プロジェクトには対応可能とみられているものの、中長期的な洋上風力発電需要や風車設備の超大型化などの動きには対応できなくなる可能性がある。昨年末に公表された政府の洋上風力産業ビジョンでは、2040年までに3000万kw～4500万kwの設備目標が示されており、現状で整備中の現状の基地港湾計画では、広さ、場所とも限界がある。

このため港湾局では、洋上風力の産業競争力強化に向けた官民協議会（事務局：経産省・国交省）の下に、新たに「2050年カーボンニュートラル実現のための基地港湾のあり方に関する検討会」を設置し、将来を見据えた基地港湾について議論を開始する。

---

## 3.第1回港湾・空港工事のあり方検討会を開催、今夏にガイドラインまとめ

国土交通省港湾局、並びに航空局は4月28日、「港湾・空港工事のあり方検討会（委員長・池田龍彦横浜国大名誉教授）」の第1回会合を開催した。港湾、空港の土木工事における働き方改革、担い手育成・確保、生産性の向上を着実に推進する方策を検討するのが狙い。

国土交通省では令和元年に工期の適正化や現場の処遇改善等の働き方改革の推進、技術者に対する規制の合理化やICT・活用等による生産性向上、災害時の緊急対応の強化や持続可能な事業環境の確保といった観点から「新・担い手3法」が改正・施行されている。また新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応や外国人技能労働者の受け入れ、デジタルトランスフォーメーションへの対応等、社会が大きく変容していく中で、引き続き、港湾・空港工事における働き方改革、担い手の育成・確保、生産性の向上を推進する必要がある。

委員会では港湾・空港工事の特性を踏まえた適正な工期設定について検討するとともに、今夏を目途に「港湾・空港工事の工期の設定に関するガイドライン」をとりまとめる予定。

#### 4.鹿児島港臨港道鴨池中央港区線、橋梁P 5, P 7下部工へ

九州地方整備局鹿児島港湾・空港整備事務所は鹿児島港臨港道路「鴨池中央港区線」の橋梁整備で、このほど橋脚P 5, P 7の2基を対象とする工事の入札手続きを開始した。2基の下部工を1件工事として調達する。WTO対応工事。

鹿児島港臨港道路「鴨池中央港区線」は、鴨池港区と中央港区を結ぶ延長約2・4kmで、鴨池地区の約700mは護岸前面部を埋立で確保、海上部の橋梁区間は約1・1km。橋梁構造は鴨池側からA 1～P 3がPC 3径間ラーメン箱桁（延長289m）、P 3～P 9は鋼6径間連続合成細幅箱桁（509m）、P 9～A 2がPC 3径間ラーメン箱桁（延長307m）として計画している。

このうち海上橋梁部は鋼6径間連続箱桁構造から先行することにしており、昨年度にP 4, P 6, P 8を対象とする3本の橋脚整備を終えている。

入札手続きに入っているP 5, P 7の2本の橋脚も構造や施工法は昨年度実施工事とほぼ同様に、マイナス38～39mまで鋼矢板を井筒構造で打設し、張出式橋脚を立ち上げる。同工事は令和4年11月まで。鹿児島港湾・空港整備事務所では、同箱桁部を先行していることから、その後も引き続きP 3, P 9橋脚に入っていく考え。

※港湾空港タイムス5月3日号から編集

※新たに導入したPCとメーカーの環境では、添付ファイルが「\*\*\*.dat」となったり、不要な添付ファイルが付く場合があります。受信ファイルに不具合がある場合は、気兼ねなくその旨ご指摘ください

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：山田 安彦 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: [rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)

////////////////////////////////////